

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表										
法人名	株式会社リボーン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の特徴	当社は総合福祉サービスを展開しており、様々な事業展開を行っています。当事業所は「ファミリアいしづか」に基づき、馴染みの地域でいつまでも安心・安全に過ごせるように、家族や地域の人々と共に支援できる関係作りを特徴とする事業所です。					
事業所名	ファミリアいしづか	管理者	藤井 由紀							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	3人	人	7人
項目	前回の改善計画		前回の改善計画に対する取組み・結果		意見		今回の改善計画			
A. 事業所自己評価の確認	年1回以上、職員全員が研修に参加する。今後も所属会議にて共有を行う。		参加した研修は所属会議にて情報共有を行った。調理員の受けたい研修が見つからず、全職員が研修に参加とはならなかった。		必要な研修は受けて頂きたいと思いますが、目的・内容がわからないので、皆様のご判断にお任せ致します。全職員の方の共有は大切ですので、今後とも続くように。調理員以外は研修に参加し、その情報を職員で共有し、自己評価やスキル向上に努めており、引き続き取組をお願いしたい。		職員にヒヤリングを行い、個々の成長につながる研修受講を推奨していく。			
B. 事業所のしつらえ・環境	空き時間に施設周辺の草取りを、可能な時は利用者を交えて行い、環境整備に努める。		利用者で草取りをしたり、畑をしたり、作業を行い環境整備に取り組めた。		環境整備へのご協力を頂き、ありがとうございます。良い環境にあると思います。利用者と共に作業を行い、環境整備に努めているので、利用者の意欲を高めながら今後も継続していただきたい。		道のゴミ拾いを職員の通勤時の動線、利用者との散歩時に行い、引き続き環境整備に努める。			
C. 事業所と地域のかかわり	良い気候、季節の時は、積極的に利用者で散歩に出かけ、ご近所の方と会える機会を持つ。今後も、地域向け新聞を作成し、回覧して頂く。		天気を見て、利用者で散歩に出かけた。また、ファミリア農園で畑作業中、近所の方が声をかけて下さり、交流する事が出来た。新聞はSNSに変更し活動を発信している。		今後とも積極的な取組みを、宜しくお願致します。コロナ禍で難しいと思いますが、新聞等で発信してもらえればと思います。地域の人は、自分がまだ健康だとなかなか興味がないものだが、コロナが治れば施設見学とか介護教室など、ふれあいの場ができるのですが、近所の方に声をかけてもらえるような行事を行ったり、SNSで活動の内容を発信し、地域との関りを推進してほしい。		コロナ感染症での交流自粛が緩和された時に、素早く交流を始められる様に、準備を進めておく。SNS発信を続け、活動を知って頂く。			
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	民生委員の業務内容、役割を調べ、情報共有を行う。		民生委員の業務内容、役割の情報共有を行った。しかし、職員は関わりが無い為、理解には未だ不十分な様で、今後の課題とする。		個人情報管理等の問題もあり、難しい面もあると思いますが、必要な情報共有が出来れば良いですね。施設と民生委員の情報共有といっても、難しい所があります。石塚町からの利用者を担当しているケアマネさんとの懇談があれば良い。職員が民生委員の業務内容、役割の情報共有など、今後も本人の暮らしを支える地域に向く取組みを行ってほしい。		住み続けられる町の良さを感じて頂く為に利用者の要望を聞き取り、外出の機会を計画する。			
E. 運営推進会議を活かした取組み	利用者、家族、地域の方からの意見や苦情を頂く活動は続け、職員で素早く検討を行う。		家族からの意見を共有し、運営に活かすことが出来た。運営推進会議で頂いた地域の方からの意見をもとに、事業所のあり方を話し合う事ができた。		大変なお仕事とご推察致しますが、宜しくお願致します。利用者の方それぞれに対応が違うので、職員の方は大変ご苦労があると思いますが、会議を運営に活かしてください。家族からの意見を共有するとともに、運営推進会議での意見などを、今後も事業所の運営に活かしてもらいたい。		積極的に利用者、家族、地域の方からの意見や苦情を頂けるよう取組みを行い、職員間での検討時間を設ける。			
F. 事業所の防災・災害対策	年に2回の火災・水害を想定した避難訓練を実施し、災害対策に備える。コロナウイルス感染時の訓練を行う。		年に2回の火災・水害を想定した訓練を実施した。コロナウイルス感染時の訓練は、今後行う予定。実際、コロナ蔓延をした施設の体験を聞き、情報共有を行った。		いざというときに備えて、訓練は大変重要であると認識されています。そうした中、コロナ禍での実施は、大変興味があります。折を見て体験談をお聞かせ願えれば幸いです。コロナ禍の対応はご苦労があると思います。年2回の火災・水害を想定した訓練を実施したり、コロナウイルス感染時の訓練も行う予定であり引き続き防災・災害対策に努めていただきたい。		避難訓練を継続し、災害に備える。火災時のDVD映像を、職員で視聴し勉強会を行う。			